

# 「国営讃岐まんのう公園整備プログラム（案）」に対する パブリックコメントの実施結果について

## 1. 実施概要

### (1) パブリックコメント実施の主旨

国営讃岐まんのう公園の整備プログラム（平成20年度～平成24年度の整備及び管理運営方針）について、広く一般市民の皆様から意見をいただき、今後の公園計画に反映させるものです。

### (2) 意見募集対象

国営讃岐まんのう公園整備プログラム（案）について

### (3) 実施期間

平成21年 2月16日（月）～ 3月 5日（木）（18日間）

### (4) 実施主体

四国地方整備局建政部、国営讃岐まんのう公園事務所

### (5) 告知方法

- ・ホームページ：国営讃岐まんのう公園および四国地方整備局にて掲載
- ・資料配付：国営讃岐まんのう公園、公園事務所および四国地方整備局建政部にて配布

### (6) 意見提出方法

- ・FAX、郵送、電子メール

### (7) 回答方式

- ・自由記入方式（ただし、年齢・来園回数などの属性については選択方式）

### (8) 回答数

- ・17通

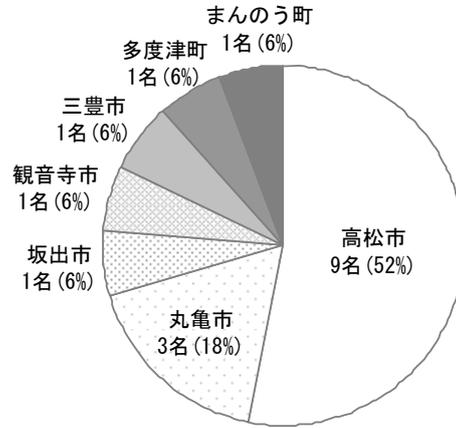
## 2. パブリックコメントの実施状況

今回のパブリックコメントでは、各提出方法を合わせ、17通の貴重なご意見をお寄せいただきました。

回答者の属性を見ると、香川県内にお住まいの方、30代以上の方、国営讃岐まんのう公園を頻繁にご利用いただいている方からのご意見が集まりました。

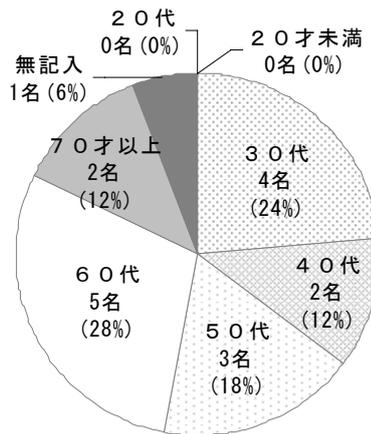
### ■回答者の住所

住所	回答数
高松市	9
丸亀市	3
坂出市	1
観音寺市	1
三豊市	1
多度津町	1
まんのう町	1
合計	17



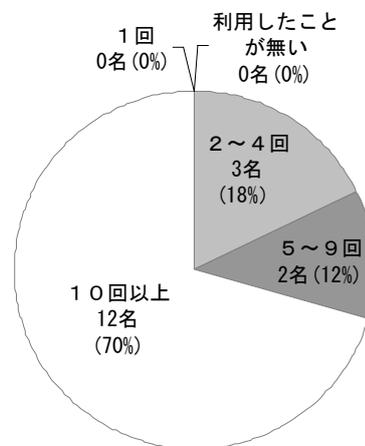
### ■回答者の年代

年齢層	回答数
20才未満	0
20代	0
30代	4
40代	2
50代	3
60代	5
70才以上	2
無記入	1
合計	17



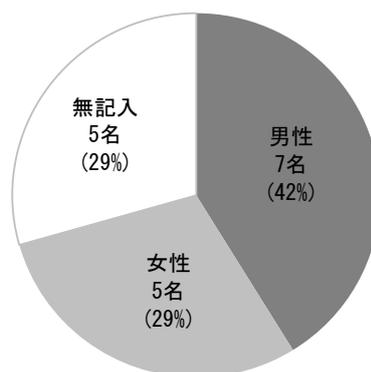
### ■回答者の来園頻度

来園頻度	回答数
1回	0
2～4回	3
5～9回	2
10回以上	12
無い	0
合計	17



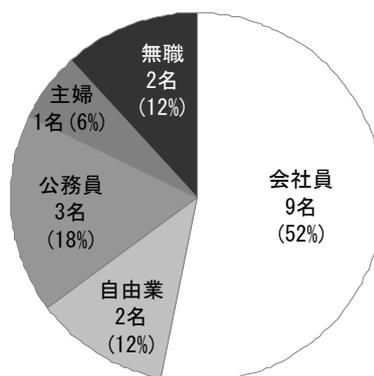
■回答者の男女構成

性別	回答数
男性	7
女性	5
無記入	5
合計	17



■回答者の職業

職業	回答数
会社員	9
自由業	2
公務員	3
主婦	1
学生	0
無職	2
その他	0
合計	17



3. いただいたご意見について

(1) ご意見の分類

お寄せいただいたご意見等を整備プログラム(案)の項目別に整理すると以下のとおりとなりました。なお、整備プログラム(案)以外の「入園料・駐車料金」等に関するご意見もいただきましたので、項目として計上しております。

■国営讃岐まんのう公園整備プログラム(案)の項目別の意見数\*

項目	意見数(件)
1. 平成24年度までの公園の整備・管理運営の重点事項について	5
2. 今後5年間の整備方針について	25
3. 管理運営方針について	29
4. 今後5年間の事業に伴い期待される効果について	0
5. その他(整備プログラム以外)	18
<b>意見総数</b>	<b>77</b>

(回答数17通)

※意見数：お一人の方から複数の項目に対するご意見をお寄せいただいている場合は、回答いただいたご意見の内容から整備プログラム(案)の項目別に分類し、意見数を数えております。そのため、回答数と各々の意見数の総計は一致していません。

(2) ご意見の要旨と対応について

お寄せいただいたご意見の要旨とそれに対する考え方、整備プログラムへの反映等を以下に示します。なお、ご意見の要旨により異なる箇所に分類されている場合がありますがご了承下さい。

■ご意見の要旨と考え方および整備プログラムへの反映等

※番号：ご回答いただいた順に付けた番号です。同じ番号は、同じ方のご意見を意味します。

項目	分類	番号	ご意見の要旨	国営讃岐まんのう公園の考え方	整備プログラムへの反映	
1. 公園の整備・管理運営の重点事項について	公園づくりの考え方	①	考え方として「自然環境の創出または創造」も必要である。	「公園づくりの考え方」に示すとおり、自然環境の保全・活用を通じて、新たな自然環境の創出が図られると考えています。	原案どおり	p. 4
		③	自然を活かした公園として下さい。	「公園づくりの考え方」に示すとおり、自然環境の保全・活用を基本とし、公園づくりを進めます。	原案どおり	p. 4
		⑤	これからの公園は低炭素・自然共生・循環をテーマに内容を充実させていくべき。まんのう公園の役割としては、楽しみながら命のつながりと暮らしのヒントを提供することに有ると思っている。	「公園づくりの考え方」に示すとおり、自然環境の保全・活用やリサイクル・リユースに関する体験学習等を積極的に展開することにより、ご意見への対応が図られるものと考えています。	原案どおり	p. 4
		⑤	環境を守る知識と技術を学ぶ公園にするには、自然学校、エコスクール、指導者養成講座の定期開催が必要である。	自然学習プログラム等の具体案として今後の参考にさせていただきます。	原案どおり	p. 4 (8)
		⑪	「市民に開けた管理運営等」は、「イベントの企画実施、里山・樹林の管理、公園の運営等について、市民の参加および協働を中心に行う」としたほうが分かりやすい。	表現を改めます。	「市民参加による管理・運営等を進める公園とします。」に修正	p. 4 (10)

項目	分類	番号	ご意見の要旨	国営讃岐まんのう公園の考え方	整備プログラムへの反映	
2. 今後5年間の整備方針について 1/5	今後の整備の必要性	⑫	もう十分整備はできていると思う。これ以上費用を投入して整備を進める必要は無いと思う。今後は整備を進めるのではなく、現状のままソフト施策で入園者数の増加を図っていけばよいと思う。	近年の利用者ニーズが、健康志向や自然志向へと変化していること、また、地球環境問題の高まりの中で、四国本来の里山林を保全することを念頭に、放置された樹林を適切に管理し、健全な自然環境を回復させ、生物多様性を確保するための持続可能な社会づくりに向けた環境学習などが求められています。	原案どおり	p. 5
		⑬	公園の整備はもう十分だと思う。整備を縮小ではなく、一旦休止してみてもどうか。	このため子供からお年寄りまで、自分にあつた心身の健康づくりができる健康ゾーン及び自然生態園だけでなくゾーン全体での環境学習プログラムの展開を計画している自然活用ゾーンの整備が重要な使命を果たすと考えています。		
		⑭	これまでに十分な整備ができているので、新規整備は不要で、既存施設の利用方法を検討する方が優先順位が高いと思う。整備から維持へ予算を完全にシフトしてもらいたい。  健康ゾーンの整備は、現在の計画程度でよいのではないかと。  自然活用ゾーンは環境保全ゾーンとして山林を保全すれば十分と考える。	今後の整備内容については、従前の計画を見直し必要最低限の整備を行い、平成24年度末に全域を概成開園する計画としております。 なお、今後の整備にあたっては、引き続きコスト縮減に努めるとともに、利用促進のためのソフト施策についても検討を進めていきます。		
		④	早く全域開園して下さい。	ご期待に応えられるよう、取り組んでいきます。		
		費用対効果	⑫	この整備プログラムには事業費について記載がありません。整備する理想を掲げるのは勝手ですが、問題は費用対効果です。	本プログラムは、平成24年度までの整備及び維持管理の目標等を示すものであり、費用対効果の分析結果については掲載しておりませんが、本プログラムに記載した内容で平成20年11月に事業再評価を行っており、事業継続が適当とのご判断を頂いております。(四国地方整備局のホームページに詳細な情報が掲載されています。)なお、今後の整備や維持管理にあたっては、コスト縮減に努めていきます。	原案どおり

項目	分類	番号	ご意見の要旨	国営讃岐まんのう公園の考え方	整備プログラムへの反映	
2. 今後5年間の整備方針について 2/5	両ゾーンの整備の考え方	⑦	ハンモックを木につるしたり、芝生でねころんだり、自然を直に感じることができるゾーンをもっと増やしてほしい。	両ゾーンの整備の考え方に示すとおりより一層自然を直に感じただけになります。	原案どおり	p. 5 p. 7
		⑩	ゾーンの連続性や次のゾーンへとつながる期待が持てる工夫がほしい。	各ゾーンの整備イメージに示すように、各ゾーンの林内散策路等をネットワーク化することにより、全園が一体化します。また、各ゾーンの機能面においても、各ゾーンが互いに補完しあう施設等を計画しています。		原案どおり
	土地利用についての考え方	⑮	新たな開園区域では、今まで以上に慎重な開発とし、自然を守ってほしい。	「土地利用についての考え方」に示すとおり、今後の整備にあたっては、地形や自然環境の改変を極力抑え、自然環境の保全・活用を基本とした計画としています。	原案どおり	p. 7
		⑯	現在の工事をみていると、山が壊されていくと感じる。			

項目	分類	番号	ご意見の要旨	国営讃岐まんのう公園の考え方	整備プログラムへの反映	
2. 今後5年間の整備方針について 3/5	健康ゾーンの整備の考え方	⑤	「まんのう公園八十八箇所めぐり」(スタンプ制)という関所を設けてはどうか。楽しみながらという視点は欠かせない。	具体案として今後の利用促進策において参考とさせていただきます。	原案どおり	p. 5 ①
		⑦	健康ゾーンに温泉施設があると楽しさが広がるのではないかと。人工の波の出るプールなど、健康のためにもスポーツができるところが欲しい。安価で利用でき、自然を感じながら楽しめる場所も取り入れてもらいたい。	p. 5の①に示すとおり、自然にふれあう中での健康づくりを基本とするため、温泉・プール等の施設整備の計画はありませんが、今後の利用促進において、周辺の温泉施設等との連携強化などを検討していきたいと思っております。	原案どおり	p. 5 ①
		⑦	まんのう公園で畑を作り、育てた玄米や無農薬野菜などを使った体に良く安価な食堂、レストランなどができてほしい。	採算性などの観点から、レストラン等での営業は難しいと考えています。	原案どおり	p. 5
		⑪	天体観測などにより、自然・宇宙とのふれあいを体験できるようにするには、天体ドームや天体観測設備などを設ける必要があるため、整備計画に明記してほしい。	現在もオートキャンプ場で月一回天体観測を行っていますが、天体ドームや天体観測設備の計画はありません。自然の中で天体観測などを楽しんでいただけるように、より充実していきたいと思っております。	原案どおり	p. 5 ①
		⑰	プールなど、夏場に水遊びができる場所があるとよい。	プール等の計画はありませんが、中央広場ゾーンに水遊びができる「ドラ夢の泉広場」があります。	原案どおり	p. 5

項目	分類	番号	ご意見の要旨	国営讃岐まんのう公園の考え方	整備プログラムへの反映	
2. 今後5年間の整備方針について 4/5	自然活用ゾーンの整備の考え方	⑤	できるだけ手を加えないというのが基本で、そこに有る物を利用しながら保全することが必要である。	整備の考え方のおおりに、地形や自然環境の改変を極力抑えた整備とし、樹林等の適切な管理を通じて自然環境の保全と活用を図っていききたいと思います。	原案どおり	p. 7
		⑤	四国の里山づくりに規範というビジョンを明確にすべきである。	里山づくりの規範となるように取り組んでいききたいと思います。	「四国本来の里山林を保全し、里山づくりの規範となることを念頭に」に修正	p. 7 ①
		⑪	整備の考え方の中に「自然観察、バードウォッチング、森のようちえん、自然学習、ツリーハウス、ツリーデッキ、自然アドベンチャー」のキーワード、フレーズを元にした概念を入れた計画としてほしい。	今後も自然観察や自然学習等を実施していく計画ですが、ツリーハウスや自然アドベンチャー等については今後の管理運営において検討していききたいと思います。	原案どおり	p. 7
		⑤ ⑪	自然生態園がビジターセンターの役割を担う。生態園への出入り口は1つであるべきである。	ご意見を踏まえ、今後の自然活用ゾーンの計画・運営において検討していききたいと思います。	原案どおり	p. 7
		⑦	自然の中で音楽を聴けるゾーンを作ってほしい。	p8. 自然活用ゾーンの整備イメージに示すとおり、小規模な演奏会などが開ける林間イベントスペースを設ける計画としています。	原案どおり	p. 8
		⑧	四季を通じて花を絶やさないために花壇と季節外の花を楽しむ温室があるとよい。	温室の計画はありませんが、できる限り四季を通じた花木を楽しんでいただけるように検討していききたいと思います。	原案どおり	p. 7
		⑪	散策道(未舗装)は良いが、自動車道(舗装)は止めて欲しい。とくに園内一周道は、計画しないで欲しい。	多目的広場までの自動車道については、利便性・安全性のため整備が必要と考えています。	原案どおり	p. 7

項目	分類	番号	ご意見の要旨	国営讃岐まんのう公園の考え方	整備プログラムへの反映	
2. 今後5年間の整備方針について 5/5	自然活用ゾーンの整備の考え方	⑪	自然生態園を核として整備し、自然活用ゾーンを総合的に管理出来る仕組み、体制、構造として欲しい。 植生管理、入園者管理、イベント催し物の管理など	今後の自然活用ゾーンの管理運営において検討していきたいと思います。	原案どおり	p. 7
		⑰	子供中心とした遊具の整備を進めて欲しい。 グレードの高い遊具の整備を進めてほしい。	自然活用ゾーンでは、自然とのふれあいを楽しんでいただくレクリエーション活動施設の整備を行う計画としておりますが、経済性、安全性などを踏まえて検討していきたいと思います。	原案どおり	p. 8
	文章表現	①	本文「自然環境や景観に配慮した土地利用」を「自然との調和と共生」と、スケールの大きい表現へ変更したほうがよい。	具体的な整備内容との関係性をご理解いただきやすくするために、このような表現としています。	原案どおり	p. 7 土地利用

項目	分類	番号	ご意見の要旨	国営讃岐まんのう公園の考え方	整備プログラムへの反映	
3. 管理運営方針について 1/4	維持・管理・運営内容	⑪	入園者の出入り人数の把握や位置情報が分かるようにしてほしい。	今後の管理・運営において検討していきたいと思います。	原案どおり	p. 10
		⑪	緊急時の連絡システムを設けてほしい。			
		⑯	公園の活動が広がるにつれて、お客様の安全管理が、難しくなったり、サービスや案内が手薄になることが案じられる。	p. 10 の維持・管理・運営内容に示すとおり、安全かつ快適にご利用いただけるよう、より一層効率的・効果的な維持・管理・運営に努めていきます。	原案どおり	p. 10
		⑧	草花管理に必要な灌水は、町の浄水場から原水で供給してもらうようにすれば、水道料金の軽減になる。	浄水場から原水を供給してもらうためには、新たに多大な設備投資が必要となるため原水での供給は考えていません。	原案どおり	p. 10
		⑧	ポット苗の育苗、直接種をまき、花が咲くまで立ち入り禁止にして、見頃になったら開放するなどして、草花管理に要する経費を軽減できると思う。	p. 10 (2) に示すとおり、管理費用を低く抑えられる種の植栽など、育苗の実施や現存する植物の活用なども含め、維持管理のコスト削減を検討していきたいと思います。	原案どおり	p. 10
		⑪	現在生育している植物を保存、維持して、手を加えずに活用することでコスト低減を図ってほしい。			
		⑤	運営や保安全管理については、その分野を委託させることも必要。	今後の管理・運営において検討していきたいと思います。	原案どおり	p. 10
		⑪	コスト低減のために、運営管理の一部を NPO に委託化できないか。			

項目	分類	番号	ご意見の要旨	国営讃岐まんのう公園の考え方	整備プログラムへの反映	
3. 管理運営方針について 2/4	維持・管理・運営内容	⑪	「(4) ボランティア参加による維持管理運営」に、市民に積極的に参加して貰うための仕組みづくり、システム作りを行うことを明記して欲しい。 また、多様なボランティア人材の育成も公園としての役割と認識して、計画に入れてほしい。	p. 12 「○市民参加による管理運営の充実」に示すとおり、プロジェクトワールドなどの人材育成や市民の皆様に積極的に参加いただけるしくみや機会を設けていきたいと思えます。	「ボランティア活動の一層の拡大・充実を図るとともに、人材育成に取り組み…参加して頂くためのしくみづくりを行います」に修正	p. 10 (4)
		⑫	ありのままの様子で必要な間伐や下刈りなどの作業を一般の方々の参加の中でしていくことは、できないか。	p. 10 (4) に示すとおり、現在、体験学習だけでなく、ボランティア活動も含め検討中です。	原案どおり	p. 10 (4)
		⑬	ボランティアの日を拡大し、生態園の管理等にも導入されたい。			
		⑭	特に希少種のあるエリアについては、専任の学芸員の配置が欠かせない。専門員は常駐すべき。できないのならボランティアの中からプロを育てるべき。	今後の管理・運営において検討していきたいと思えます。	原案どおり	p. 10
		⑮	公園全施設をガイドできる専門員は不可欠。これからは手を広げる程予算がないため、今ある資源を有効に利用することも考えなくてはならない。			
		⑯	リサイクル、水の循環利用等については、その過程の「見える化」を図ることで、環境教育の教材として利活用出来る物として欲しい。	ご意見を踏まえ、リサイクル、水の循環利用等についても、環境教育の教材として利活用できるものとしていきます。	原案どおり	p. 10 (3)

項目	分類	番号	ご意見の要旨	国営讃岐まんのう公園の考え方	整備プログラムへの反映	
3. 管理運営方針について 3/4	利用促進内容	⑤	エコツーリズムに「まんのう公園」を入れる。イノシシも資源である。	多様なご提案、有り難うございます。 今後の利用促進において参考とさせていただきます。	原案どおり	p. 11
		⑥	環境や自然保全について学ぶ場となって欲しい。			
		⑥	常にリピーターを大切に、回を重ねるにつれて充実できるように、経営をしていただきたい。			
		⑦	エコが流行っているので、フリーマーケットを定期的に行う。			
		⑧	開園しているすべてのエリアを訪れる工夫をしてはどうか。歩き方の指導と複数のエリアを訪れるガイドウォークなどどうか。			
		⑩	マナーを守りながら、本物に触れあうことから命の大切さを学べる体験の場としてほしい。			
		⑨	今後開発される各種ゾーンなどを私たちが大人から子供まで楽しむことや体験教室、里山や自然観察会など年間を通じて開催されることを希望する。	関係者等と調整を行い、検討していきたいと思います。	原案どおり	p. 11
		①	情報提供の対象に諸外国も視野に盛り込み、もう少しグローバル化を求めた表現がよい。	情報提供については、今後の管理・運営において検討していきたいと思います。	原案どおり	p. 11
		⑥	四国エリアが中心であるが、瀬戸大橋の料金も安くなる様なので、岡山、中国地方への情報発信も大切かと思う。	p. 11「利用促進内容(1)さらなる来園者数の拡大」に示すとおり、岡山、関西圏等の広域圏に対する広報活動の強化に努めていきます。	原案どおり	p. 11 (1)
		⑩	自然生態園を小学校や子供会、幼稚園、保育所などにもっとPRしてほしい。	現在、幼稚園や保育所についてもPRを行っていますが、なお積極的な情報提供等に努めていきます。	原案どおり	p. 11

項目	分類	番号	ご意見の要旨	国営讃岐まんのう公園の考え方	整備プログラムへの反映	
3. 管理運営方針について 4 / 4	文章表現	①	タイトルを「ライフサイクルコストの縮減に向けた維持・管理」としたほうが本文と合致するのではないかと。	「ライフサイクルコストの縮減」を目標としておりますので、現在の表現とさせていただきます。と思ひます。	原案どおり	p. 10
		①	本文「公園の維持・管理・運営へ積極的に参加」を「積極的に参加」としたほうがよい。	継続的にご参加いただくことで、より一層の効果が発揮されると考え、ご提案の表記に修正致します。		
		①	本文「公園利用者のニーズ」を「公園利用者の生の意見・要望」としたほうがよい。	利用促進プロジェクトは、今後検討を進めるものであるため、現在の表現とさせていただきます。なお、公園利用者のニーズは、利用者の方々の生の意見・要望と同一と考えています。		
		①	本文「利用促進に向けた方策の検討等」を「今後の利用促進に向けて」としたほうがよい。		原案どおり	p. 11
		①	本文「意見を取り入れて」を「参画する利用促進プロジェクトにより」としたほうがよい。			

項目	分類	番号	ご意見の要旨	国営讃岐まんのう公園の考え方
5. その他(整備プログラム以外) 1/2	入園料・駐車料金について	⑧	全国統一の利用料金を明確に してもらいたい。 入園料無料日に駐車料金を払 うのは一般人には理解しがた い。無料日の効果が台無しに なる。	入園料については、都市公園法に基づき設定され たもので、受益者負担の観点から利用者の皆様に 応分の負担をお願いしています。 駐車場については、レストラン、オートキャンプ 場、サイクリング施設と同様に料金収入でもって 管理運営している有料施設であり、現在は、独立 行政法人都市再生機構が管理しています。 なお、駐車料金については、安全にご利用いただ けるよう、駐車場内の路面等の維持管理、混雑時 における誘導員の配置等の費用として使用されて おり、利用者の皆様に応分のご負担をお願いして います。 頂きましたご意見は、今後の有料施設のあり方 の検討において、参考にさせていただきます。
		⑫	駐車料金と入園料が別なのは おかしいと思う。駐車料金込 みの入園料としてもっと安く 一括で徴収したほうが入園者 数が増えると思う。	
		⑭	公営の公園で入場料と駐車料 金を取られることに疑問を感 じる。今後、廃止の方向で検 討してもらいたい。	
		⑮	入園料を値下げすること、で できれば無料にして欲しい。	
		⑰	割引とか友の会的な組織はあ るのか。	
	来園手段	⑤ ⑩	持続可能な社会づくりの推進 というのなら、公共交通を利用 して来園できるようにする べきである。	理想的なご意見ですが、現実的には、繁忙期等に 琴平駅等から運行しているシャトルバスについ て、より一層利用しやすくできるよう検討してい きたいと思います。
		その他	⑪	携帯電話の通話エリアを確保 してほしい。
	⑰		園内では携帯電話でやりとり が出来るようにして欲しい。	
	②		満濃池との連携がうまくなさ れていない。	満濃池展望遊歩道や岬の栈橋、池沿いの遊歩道の 整備を行ってきましたが、ソフト面の展開につい ても考えていきたいと思います。
	②		宿泊施設の充実を図る。 自然環境を生かしたコテージ 等の施設整備。	宿泊施設については、新たに増設することは考え ていません。今後の改築時に検討したいと思いま す。
	⑤		再来園を促進させるため には、フィーダーバスや電気自 動車(ドラムバス)などの導 入が必要である。	現在、繁忙期に園内周遊バスを運行しております が、維持管理費のコスト削減のため、フィーダー バスや電気自動車の導入は考えていません。

項目	分類	番号	ご意見の要旨	国営讃岐まんのう公園の考え方
5. その他 (整備プログラム以外)  2 / 2	その他	⑥	インタープリターボランティアとして活躍させていただき、常に自分自身充実している。 今後、この考え方を念頭に置き、I.P.V としての活動に励みたい。	日頃の皆様のボランティア活動への御協力ありがとうございます。 今後ともよろしく申し上げます。
		⑪	イノシシの適正管理をお願いしたい。	関係者と調整の上、対策を検討していきたいと思います。
		⑭	山の中でキャラクターショーをするのではなく、国の事業らしく、後世に誇れることをしてもらいたい。	今後は国営公園ならではの取り組みを検討していきたいと思います。
		⑭	管理事務所が豪勢すぎると思う。吹き抜けの2階や壁面を飾る彫刻は必要なのか。	今後の整備において、箱物は計画しておらず、管理事務所については維持管理費の節減に努めていきたいと思います。
		⑮	まんのう公園は、満濃池に依拠している公園ということで他との違いがあり、それ故の利点と制約がある。入園者数ばかり云々することは本筋ではないのではないのか。	まんのう公園の特性を活かし、より多くの方々に公園を楽しんでいただいた結果として入園者数の拡大が図れると考えております。
		⑰	案内標識の設置位置の再チェック (何か少ないように感じる)。標識設置箇所から公園までの距離表示が出来ないか。	今後、調査等を行い、より分かりやすい案内表示に努めていきます。